

不思議 1 創建その 1

御霊神社が創建されたのは西暦 800 年（延暦 19 年）と伝わります。

天文 3 年（1534）に成立した「御霊宮本紀」によると、霊安寺・御霊神社を創建することを最澄が桓武天皇に進言したからであると書かれています。最澄は比叡山に天台宗を開いた高僧です。最澄は宇智郡の丹生川付近に建立することを奏上し、桓武天皇は葛井王を勅使として下向させました。はじめ草原のようなところに 50 ほどの堂を建てて霊安寺と名付け、井上内親王、早良親王、他戸親王を祀って御霊社と号したとしています。

このことから、はじめ霊安寺が建立され、その寺域に御霊社と呼ぶ堂があったと推測できます。その後、両社寺は兵火に罹って焼失を繰り返し、そのたびに再建されたものの、霊安寺は姿を消し、御霊社だけが残って今に至ったようです。霊安寺が廃寺となった理由は分かっていません。類聚三代格には、弘仁 7 年（816）10 月 23 日に太政官符が出されたことが記され、霊安寺料として稲四千束を出すという内容です。その理由として「霊安寺は伽藍はあるが法会が行われていない」ということでした。

朝廷からの補助がある間は栄えたようですが、支えが無くなって衰退したと推測できます。いつの頃か霊安寺は廃寺となり、御霊神社の神宮寺として再興されたようですが、明治の神仏分離令により神宮寺は廃寺となり、御霊神社だけが残ったということになります。



霊安寺の三重塔礎石